



# 日動労千葉

国鉄千葉動力車労働組合

〒260 千葉市中央区要町2番8号(動力車会館)  
電話 (鉄電) 千葉 2935・2936 番  
(公) 043 (222) 7207 番

02.11.26 No. 3697

# 貨物「8000人体制」攻撃粉碎へ! 柴崎新執行体制力強い船出

## 11.21 新小岩支部第15回月会開催

新小岩支部第一五回定期大会は、本部より中野委員長・布施副委員長・田中書記長の三役の出席をえ、五〇名を超える組合員が参加する中で、十一月二日、新小岩機関区講習室において開催され、「貨物八〇〇〇人体制」攻撃粉碎へ向けた闘いへの戦闘宣言の場として、圧倒的成功を勝ちとった。

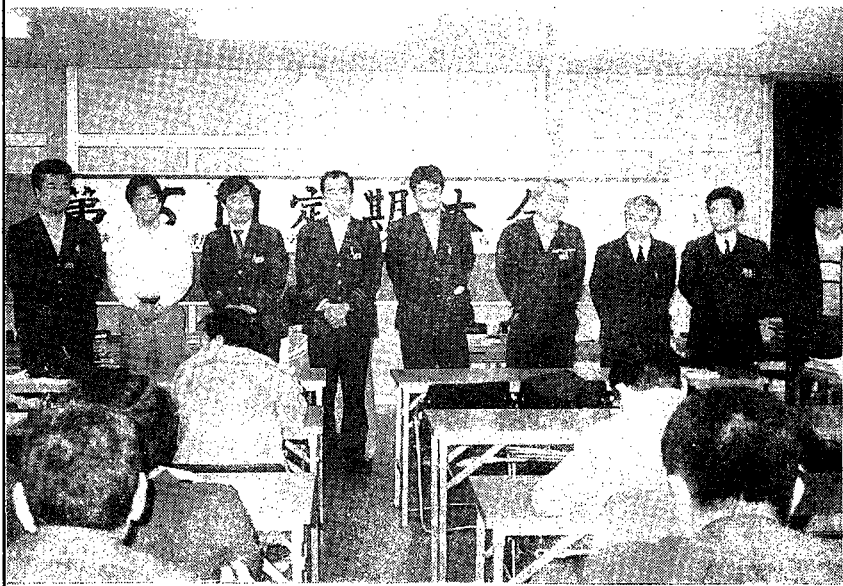
大会は、松本執行委員の司会者あいさつで始まり、議長に細谷君を選出したあと、冒頭あいさつに立った関支部長は、「分割・民営化」五年を経過して、その矛盾がいたるところで噴出し始めている。

とりわけその矛盾は貨物会社において、最も顕著な形で表面化している。「鉄道貨物の復権」が大きく取り上げられる状況の中で、自前の線路を持たず、各旅客会社間のスジの合間をぬって運行しているがゆえの矛盾は今や覆い隠せるものではない。「経営の悪化」を理由とした大合理化、「貨物八〇〇〇人体制」攻撃は、われわれにとっては理由ならざる理由であり、断じて許しがたい攻撃だ。

来年は貨物支部にとって、基地問題等を含めた最大の闘いの年になる。本大会での活発な議論を通し、闘う方向性を鮮明にしよう! 解雇撤回・原職奪還・清算事業団闘争勝利へ向け、総力をあげて闘い抜こう! と力強い提起を行った。

続いて来賓として、国鉄闘争支援葛飾地区協・佐保議長、動労千葉OB会・松崎会長(新小岩支部出身)より激励と連帯のあいさつを受け、本部を代表して田中書記長から①、この一年間の闘いの経過と総括、②、貨物会社と旅客会社の格差問題、③、「分割・民営化」攻撃十年の検証、④、「貨物八〇〇〇人体制」攻撃の現状と動向等が明らかにされた。

大会は、その後一般経過報告・会計報告・会計監査報告・方針(案)・予算(案)が執行部より提起され、質疑応答に入った。質疑の中で出された主なものとして……  
(1)、六等級から七等級に昇格する場合の基準・定数などはあるのか?  
(2)、高齢者対策について  
(3)、貨物での休日制度導入の動向について  
(4)、新小岩操の基盤整備に伴う機関区庁舎の問題について  
等々が出され、活発な討論の中から意思統一が図られたのである。



JR東日本本年末手当  
二・一五ヶ月の低額回答  
JR東日本は十一月二五日各組合に対し、年末手当の回答を行ってきたが、昨年を下回る三・一五倍(都市手当+扶養手当の月額合計額に基準額に対し)という低額回答であった。動労千葉は今年年末手当交渉の中で、組合員の生活実態から割り出した三・七ヶ月分要求とあまりにも開きがあるなど、認められないことを主張したが対立のまま留保し持ち返り検討することを通告した。

貨物△△社は年末手当の△△社間格差をつけるな  
一方、JR貨物は今日段階に至っても、年末手当につき回答を行ってきていない。「経営の悪化」を理由とし、格差をさらに拡大しようとする動きを断じて許すな!

### 新役員体制

支部長	柴崎良夫	運転士
副支部長	的場正和	運転士
書記長	君塚正治	運転士
書記次長	川田伸夫	車両技術係
執行委員	加瀬武正	車両技術係
執行委員	鈴木康巳	運転士
執行委員	斎藤隆男	運転士
執行委員	並木敬治	運転士
執行委員	鎌形哲男	運転士
特別執行委員	関豊	運転士
特別執行委員	服部和夫	運転士